

## 株式会社片岡製作所

すべて自社技術でレーザー加工・二次電池検査システム構築  
——海外売上比率70%超、経産省が「グローバルニッチトップ100選」認定

ここに注目!

新本社（企業ミュージアム新設）・研究開発センターを計画  
新工場整備による工場の集約（6工場を3工場に）

株式会社片岡製作所はレーザー加工システム、二次電池検査システムの大手メーカーだ。レーザー加工では超精密穴あけ、銅溶接、電子回路のパターニング、フィルム基材の切断などの多様な要望に応えている。また、二次電池検査システムでは電池組み立て後の充放電、電圧検査、抵抗検査、選別などの工程をトータルシステムとして提案している。特筆されるのは、レーザーシステムを構成する発信器、光学システム、機械・制御・加工の各技術、二次電池検査システムの電源・コンピューター・計測・機械・制御の各技術をすべて自社構築しており、安全性と信頼性につなげていることだ。これらの技術は海外でも高く評価され、経産省認定の2020年「グローバルニッチトップ100選」企業に選ばれている。

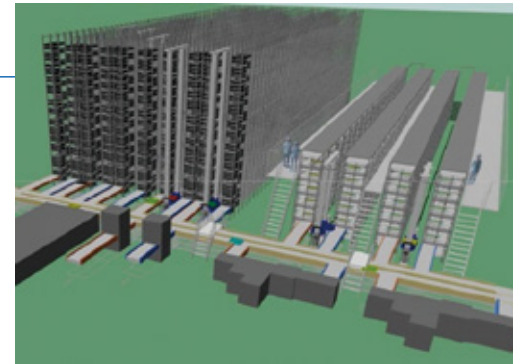
### 他社のマネをしない開発を貫き、電気自動車への転換はビジネスチャンス

世界的な脱炭素の動きを受けて、自動車の新車販売は電気自動車（EV）や燃料電池車へと急速に移行する見通しだ。片岡製作所の片岡宏二代表取締役会長は「自動車の変革は当社にとってプラスに働く。フォローの風が吹いている」という。

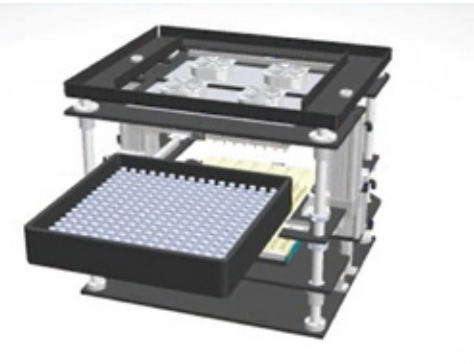
同社は1993年にリチウムイオン電池充放電検査装置の受注を始めている。「リチウムイオン電池検査装置に関する装置一式の構想設計や工場のレイアウト、設計した装置の立ち上げまで1社でできるメーカーは当社しかなく、販売は好調だ」（片岡会長）。今後開発が進むとみられる固体電池、燃料電池への対応にも自信をみせる。

このほか同社では、電子部品の溶接の際に、「スパッタ（溶けた金属の粒）が出ない溶接方法で特許を取得している」（同）。また、「自動車や電子部品の超精密用穴あけ装置もよく売れている」（同）。いずれも「他社のマネをしない開発を貫いてきた」（同）結果で、数々の製造装置や検査装置が世界市場でトップシェアを誇る。海外の売上比率は70%を超えている。

新規事業として力を入れているのは、再生医療分野の細胞プロセシング装置だ。人工知能（AI）技術によって細胞を正確に識別するとともに、光応答性ポリマーにレーザー照射し、光熱変換を利用して不要細胞を致死させる。これにより簡単に細胞を純化することを可能にした。片岡会長は「米国の有力研究所に買っていただくな



電気自動車への転換で需要が急増している二次電池検査システム



ど実績をあげつつある。将来、拡大していく要素がある」と大いに期待している。

### 新本社は地上7階建て、新工場は床面積が従来の2倍になり生産能力増強

03年に開発した薄膜太陽電池スクライプ装置でトップシェアを取り、08年のリーマンショックの時も売上高は前年比48%伸びたと話す片岡会長は、満を持して京都市南区の工場・事務所を集約し、新本社・新工場の整備に乗り出す。計画によると、第2工場、第3工場、第4工場を新工場

に集約するほか、現在2階建ての本社は地上7階建ての新本社に集約する。新本社には研究開発センターと、地域の学生が社会学習できる企業ミュージアムをそれぞれ新設する。新工場は既存工場群の約2倍の床面積を確保し、生産能力を増強する。片岡会長は「脱炭素、住環境調和、防災拠点などの面で京都市の地域開発と一緒に取り組むとともに、社員の満足度を高めたい」と話す。

同社の強みについて、片岡会長は「スピード感があり、コミットしたら必ずできること」と話す。このスピード感は働きやすさの点

でも発揮されており、「給与は男女平等で、初任給も一緒」（同）だ。有給休暇は1時間単位で取得できるし、男性の育児休暇も整っている。

業務以外では、同社が大相撲の宇良関後援会の事務所になっていることがあげられる。宇良関がインターンシップで縁のある京都府立鳥羽高校出身であることから、「角界に入ったころから応援している」（同）。片岡会長は鳥羽高校の学校運営協議会・委員であるとともに、宇良関の後援会長だ。

### わが社を語る

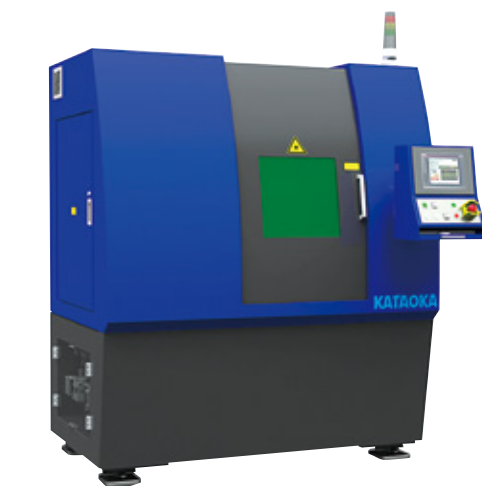
代表取締役会長  
片岡 宏二氏



### 若い人たちの夢を叶えるのが僕らの仕事

仕事は真面目、誠実、謙虚、自分の責任（何があっても自責にする）が大切です。スピード感をもって誠実に仕事に取り組む中で、若い人たちは若さゆえの創造性や発想を大いに発揮してもらいたい。若い人には夢があり、その夢を叶えてあげるのが僕らの仕事です。片岡製作所は若い人たちに人気があり、23年4月の新卒入社は15人が内定しています。女性の技術者も歓迎

しています。先日は京都府が女性技術者の座談会を企画し、その中に当社の入社3年目の社員も選ばれました。当社は京都から世界へと羽ばたいている企業です。レーザー加工・二次電池検査システム、細胞プロセシング装置の需要は大きく拡大すると見込まれます。ぜひ当社で夢を叶えてください。



高精度超精密穴あけやスパッタフリーの銅溶接が可能なレーザー加工システム

ライフサイエンス分野の細胞プロセシング装置

### 会社 DATA

所在地：京都市南区久世築山町140  
設立：1968（昭和43）年11月14日  
代表取締役会長：片岡 宏二  
代表取締役社長：吹田 昌志  
資本金：4億8,570万円  
従業員数：230名（2022年4月末現在）  
事業内容：レーザー加工システム、二次電池検査システム、ライフサイエンス  
URL：https://www.kataoka-ss.co.jp/

